

RECRUIT ディスクロージャー優良企業賞の受賞に寄せて

株式会社リクルートホールディングス 取締役兼専務執行役員兼CFO 佐川 恵一

この度は広告・メディア・ゲーム部門のディスクロージャー優良企業に選定いただき大変光栄に存じます。当社にとっては初めての選定となり、ひとえに関係アナリストの皆様のご支援とご理解によるものと、この場をお借りして改めて深く感謝申し上げます。2014年10月に上場し、資本市場の中では未だ歴史の浅い当社がこのような評価をいただけたのは、投資家、アナリストの皆様との対話を重視しながら、適切なコミュニケーションを実施すべく取り組んできた結果と捉えております。

当社は、幅広い事業ポートフォリオや、創業以来50年以上を経てなお継承し続ける起業家精神など、世界的に見てもユニークな特徴を持っており、これらを国内外のアナリスト、投資家の皆様にご理解いただくために、正確かつ効果的な説明を行うよう工夫してまいりました。具体的には、四半期ごとの決算説明会において、資本市場参加者の皆様の当社理解の一助となるよう、各報告セグメントの事業責任者によるプレゼンテーションを実施するなど、説明内容の充実に努めました。また、「統合報告書2017」では、財務情報や経営戦略に加え、非財務情報の更なる充実に努めるとともに、写真や図表を豊富に用いて、できる限り視覚的に内容が理解できるように心掛けました。

また、報告セグメントの変更やIFRSの適用なども広い意味でのIR活動の発展という観点から進めてまいりました。このような取り組みに加え、

当社に対する皆様方の興味関心に鑑み、当社が成長の柱とするグローバル戦略に、より焦点を当てた説明を実施いたしました。その結果、高い成長を続けている世界No.1の求人検索サイト「Indeed」や、先行して海外展開を推進した海外人材派遣領域に対する理解が浸透し、資本市場から一段高い関心を頂くことに繋がったのではないかと自負しております。

個人投資家の皆様に向けたIR活動についても重視しており、株主層の拡大を図ることを目的として、1株につき3株の株式分割及び中間配当を実施いたしました。また、ホームページのリニューアルや統合報告書の作成などを通じて情報提供を充実させたほか、証券会社のリテール営業を担当される方々に対して当社説明会を開催するなど、新たな取り組みも進めております。

また、コーポレート・ガバナンスの観点では、中期経営方針においてEPS成長率やROE等の指標を設定し、利益成長と資本効率の向上に対する取り組みを進めたほか、還元方針についても、株主の皆様への利益還元の更なる充実を目的に配当性向の変更を行いました。

今後も、イノベーションの創出により企業価値の向上を追求すると同時に、公平かつ適時適切な情報開示に努め、投資家、アナリストの皆様との対話を更に充実させていきたいと考えております。引き続き、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。